

2018/3期 第2四半期決算説明会

クオール

あなたの、いちばん近くにある安心

The First Section of the Tokyo Stock Exchange 3034



クオール株式会社



■2018/3期 第2四半期決算概要

■セグメント別業績

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

■事業概況・トピックス

■2018/3期 第2四半期決算概要

■セグメント別業績

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

■事業概況・トピックス

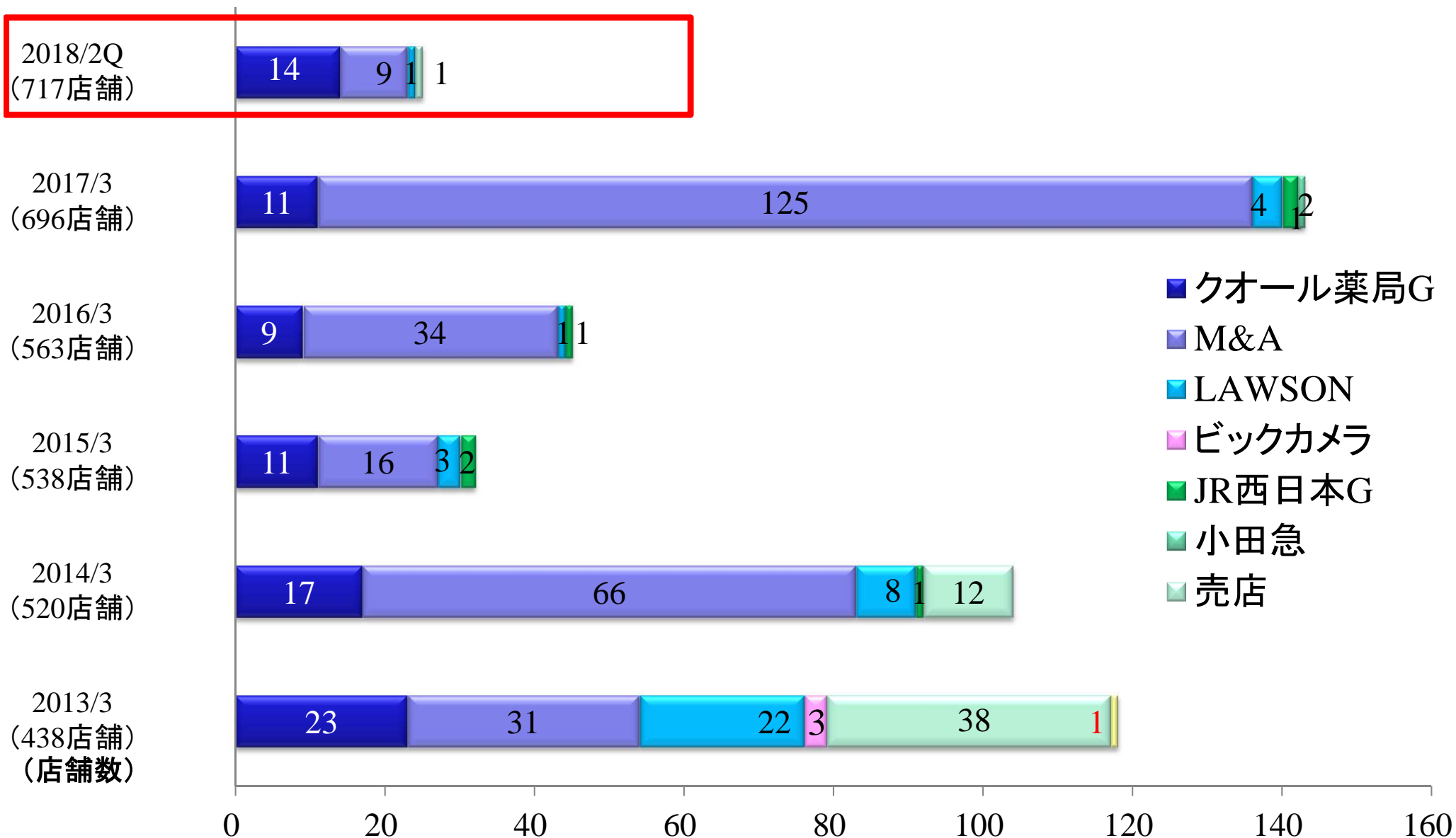
(単位:百万円)	2017/3期 2Q	2018/3期 2Q	増減	増減率 (%)	2018/3期 計画	進捗率
売上高	60,572	71,397	10,825	17.9%	146,000	48.9%
営業利益	2,366	4,251	1,885	79.7%	8,500	50.0%
経常利益	2,558	4,290	1,732	67.7%	8,500	50.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,534	2,415	881	57.5%	4,600	52.5%
1株当たり 四半期純利益(円)	44.48	73.29	28.81	64.8%	-	-

* 直近に公表している業績予想からの修正:無

■ 第2四半期増収・増益要因

- ✓ 今期出店好調、薬局25店舗(新店売上+504百万円)、M&Aの業績寄与 (M&A売上+9,275百万円)
- ✓ 既存店売上+966百万円(主に技術料の改善によるもの) 既存店処方箋単価はプラスに転じ+1.3%、既存店応需枚数も増加+3.9%
- ✓ 医薬品発注コントロール・在庫管理の精度向上(粗利率13.2%(+1.2%))
- ✓ 販管費削減(経費コントロールの継続的な実施による。販管費率7.2%(△0.9%))

■ 出店推移



資金調達状況(B/S・経営指標)



(単位:百万円)	2017.3.31	2017.9.30	増減	100%転換後 (試算)
資産合計	81,290	88,500	7,210	88,500
流動資産	36,578	43,110	6,532	43,110
固定資産	44,668	45,350	681	45,350
負債合計	59,657	63,753	4,096	55,253
CB	10,000	8,500	△ 1,500	0
有利子負債(除CB)	24,887	28,432	3,545	28,432
純資産	21,632	24,746	3,113	33,246
自己資本	21,317	24,746	3,429	33,246
負債純資産合計	81,290	88,500	7,210	88,500
ネットD/Eレシオ	0.97	0.67	△ 0.3	0.25
自己資本比率	26.2%	28.0%	1.7%	37.6%

- 2015年10月
行使価額修正条項付新株予約権付社債発行(CB)
(100億円、100個、
下限行使価額 1,799円/株)
- 2017年8月以降転換が進む
- 2017年9月末時点
15億円転換(15個)
(2017年11月1日時点
85億円転換(85個))
- 100%転換後(試算)
ネットD/Eレシオ 0.25倍
自己資本比率 37.6%

(単位:百万円)	2017/3期 2Q	2018/3期 2Q	増減	増減率(%)
売上高	60,572	71,397	10,825	17.9%
売上原価	53,311	61,984	8,672	16.3%
売上総利益	7,260	9,413	2,152	29.6%
利益率(%)	12.0%	13.2%	19.9%	-
販管費	4,894	5,161	267	5.5%
売上比(%)	8.1%	7.2%	2.5%	-
営業利益	2,366	4,251	1,885	79.7%
利益率(%)	3.9%	6.0%	2.0%	-
経常利益	2,558	4,290	1,732	67.7%
利益率(%)	4.2%	6.0%	1.8%	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,534	2,415	881	57.5%
利益率(%)	2.5%	3.4%	0.9%	-

■ 増収要因:

- ✓ 新規出店・M&Aの推進
前年同期比+97億円
- ✓ 既存店の売上伸長
前年同期比+10億円
①技術料改善、②処方箋枚数増
(②前年同期比+3.9P)

■ 増益要因:

- ✓ 医薬品発注コントロール
在庫管理精度向上
- ✓ 本社部門の経費見直し
経費比率 4.1%
前年同期比0.3P改善
- ✓ グループ人財交流・活用
総人件費率(原価+販管費)
19.3% 前年同期比0.1P改善

(単位:百万円)	2017.3.31	2017.9.30	増減
流動資産	36,578	43,110	6,532
現金及び預金	14,174	20,271	6,096
固定資産	44,668	45,350	681
有形固定資産	10,373	10,489	116
無形固定資産	29,483	29,438	△ 44
資産合計	81,290	88,500	7,210
流動負債	31,183	34,092	2,908
固定負債	28,473	29,661	1,187
負債合計	59,657	63,753	4,096
有利子負債	34,887	36,932	2,045
資本金	2,828	2,828	0
純資産	21,632	24,746	3,113
自己資本	21,317	24,746	3,429
負債純資産合計	81,290	88,500	7,210

■ 資産 増減要因:

- ✓ 現預金 61億円増加
- ✓ 有形固定資産
出店・M&Aにより1億円増加
- ✓ のれん 45百万円増加

■ 負債 増減要因:

- ✓ 有利子負債 20億円増加

■ 純資産 増減要因:

- ✓ 利益剰余金 20億円増加
- ✓ 資本剰余金 2.2億円増加
- ✓ 自己株式のCB転換充当 11億円

(単位:百万円)	2017/3期 2Q	2018/3期 2Q
営業活動による キャッシュ・フロー	1,804	6,148
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,070	△ 2,686
フリーC/F	△ 265	3,461
財務活動による キャッシュ・フロー	4,792	2,644
うち配当金の支払額	△ 482	△ 400
現金・現金同等物の 増減額	4,526	6,106
現金・現金同等物の 期首残高	16,287	14,144
現金・現金同等物の 期末残高	20,814	20,251

- 営業CF増加 +43億円
- ✓ 税金等調整前四半期純利益 +42億円(前年同期比+13億円)

- 投資活動CF支出増 +6億円
- ✓ 新規出店+M&A

- 財務活動CF減 △21億円
- ✓ 有利子負債の返済

■2018/3期 第2四半期決算概要

■セグメント別業績

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

■事業概況・トピックス

(百万円)	2017/3期 2Q	2018/3期 2Q	増減	増減率(%)
調剤事業売上高	55,079	66,126	11,047	20.1%
営業利益*	1,980	3,903	1,923	97.1%
利益率(%)	3.6%	5.9%	2.3%	-
BPO受託事業売上高	5,492	5,271	△ 221	△4.0%
営業利益*	791	755	△ 35	△4.5%
利益率(%)	14.4%	14.3%	-0.1%	-

*セグメント間取引消去前利益

■ 調剤事業:

- ✓ M&A案件の業績寄与(前期M&A125店舗、今期M&A9店舗実施)、既存店の業績改善。
- ✓ 技術料は改定影響をクリアし、利益改善に寄与。薬剤料はC型肝炎治療薬売上減の影響残り伸び鈍化。上期いっぱいはいは処方箋単価マイナス。(△1.3%)

■ BPO受託事業:

- ✓ 減収なるも医療スタッフの派遣好調、上期CSO事業はプロジェクト調整期(2Q計画どおり)
- ✓ CRO事業の再編(上期一時的な減収・減益。4月にアポプラスステーションに統合し事業再構築中)

■2018/3期 第2四半期決算概要

■セグメント別業績

(1) 調剤事業

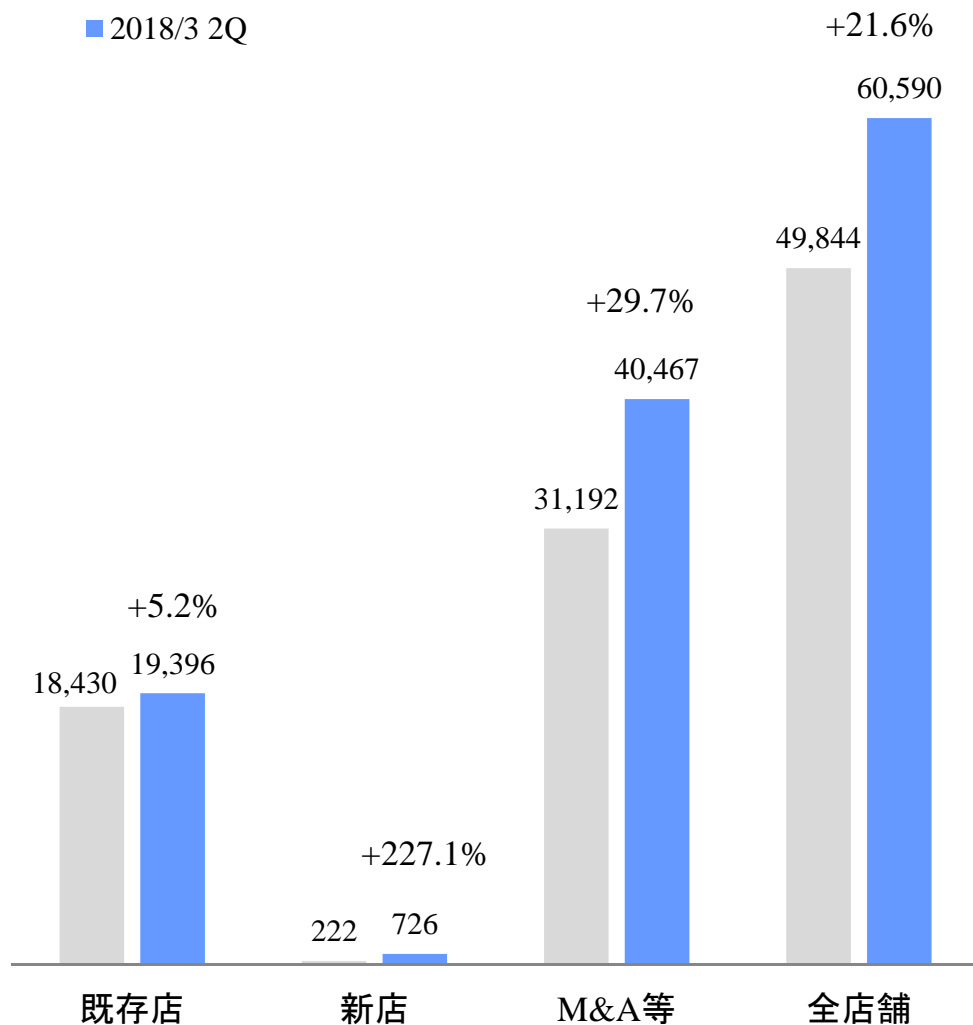
(2) BPO受託事業

■事業概況・トピックス

調剤売上高 (百万円)

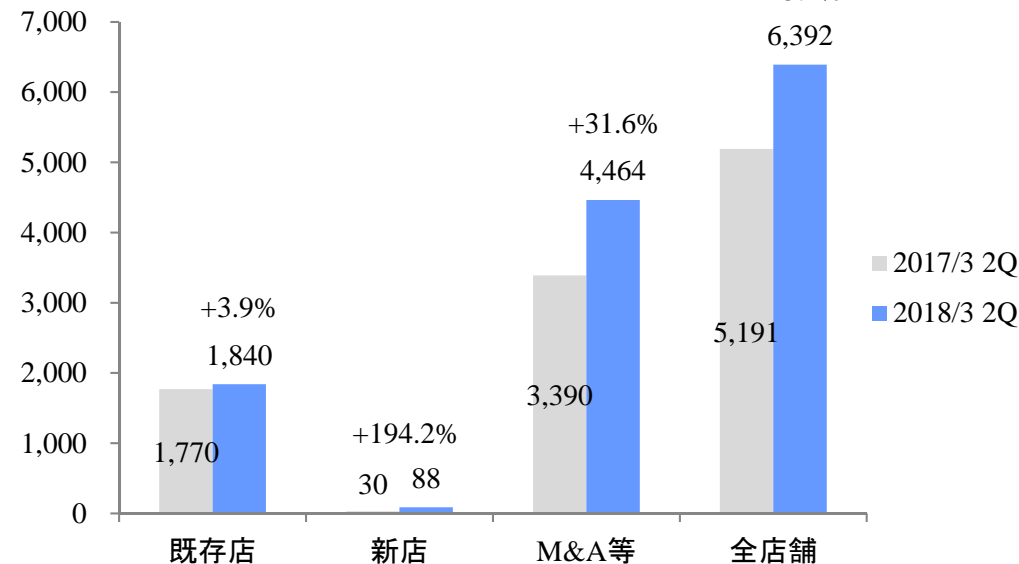
(調剤売上高=処方箋応需枚数×処方箋単価)

■ 2017/3 2Q
■ 2018/3 2Q



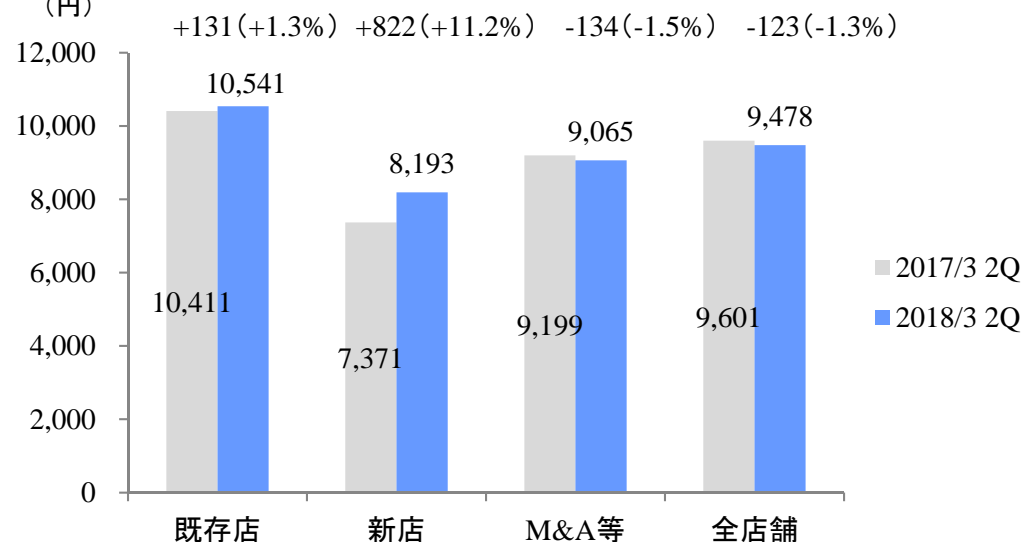
処方箋応需枚数 (千枚) (連結ベース)

(千枚)



処方箋単価 (円)

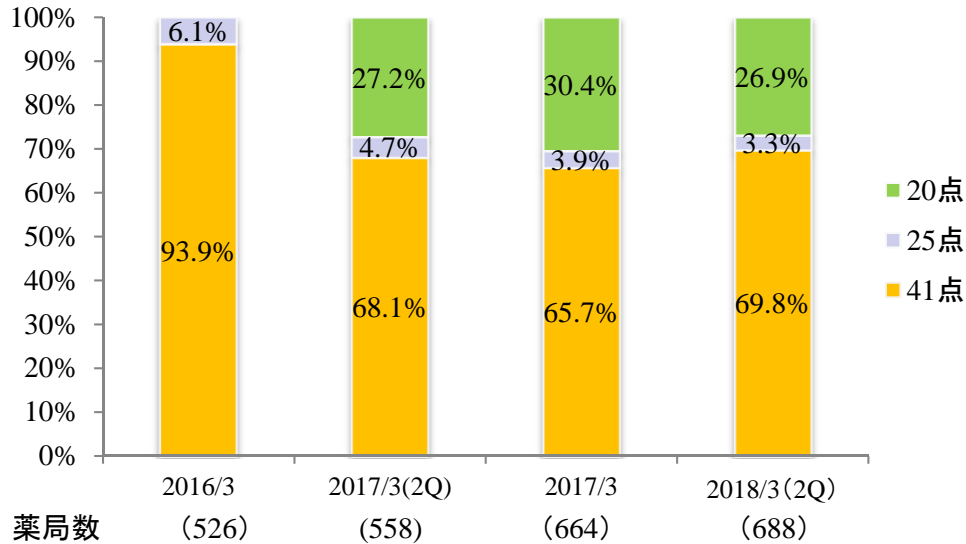
(円)



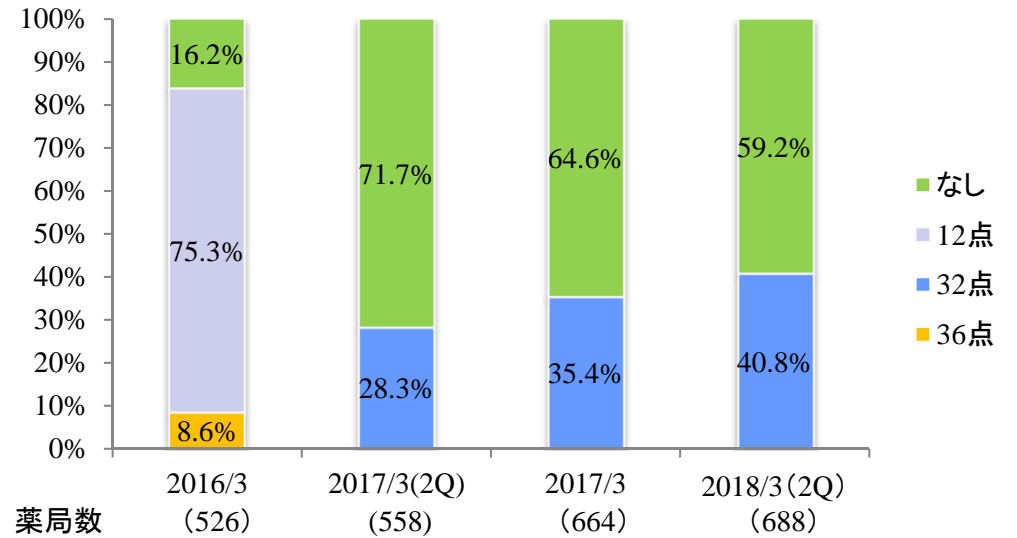
【調剤事業】 診療報酬改定の影響 技術料単価はプラスに



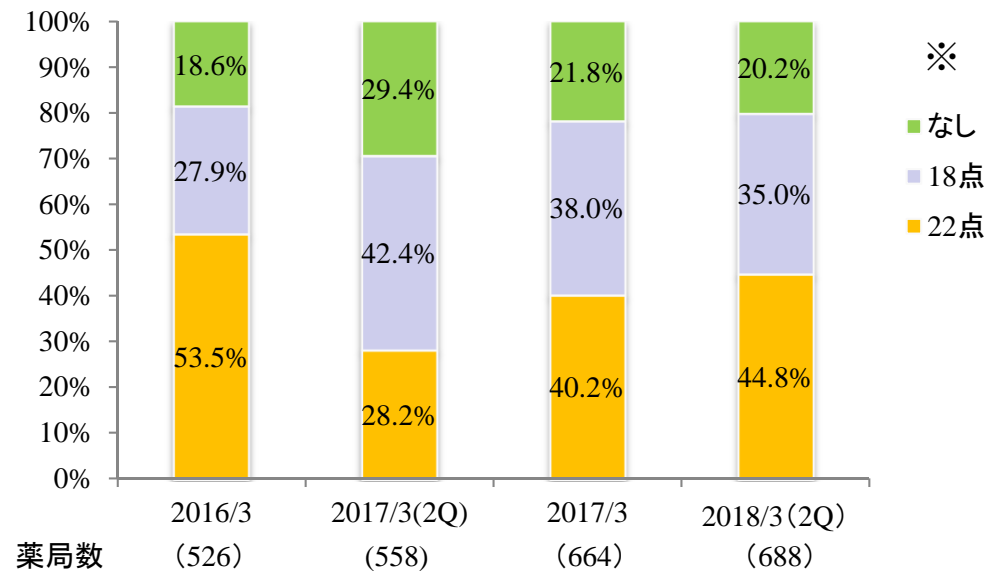
調剤基本料 店舗割合



基準調剤加算 店舗割合 (連結ベース)



GE医薬品調剤体制加算 店舗割合



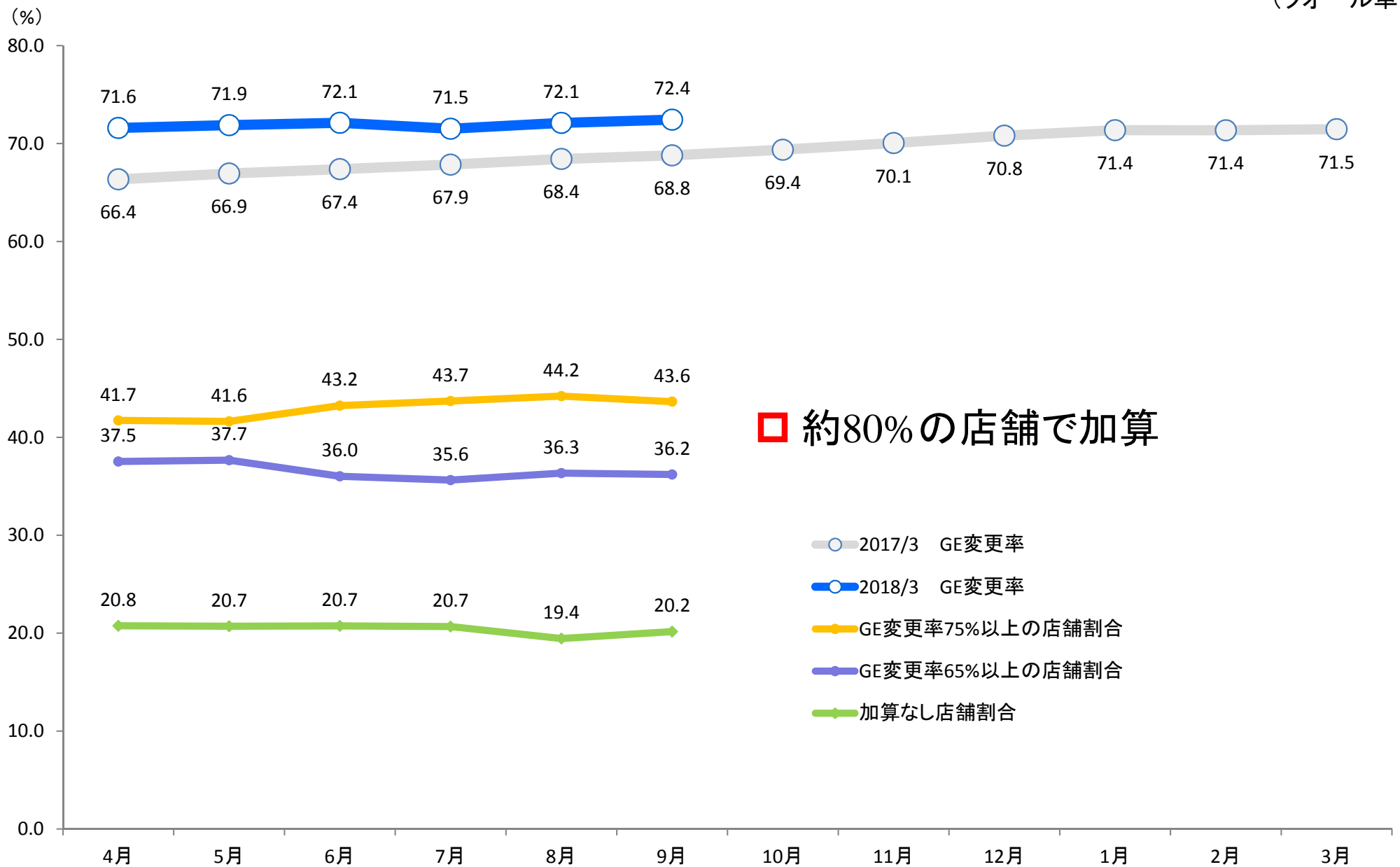
※

2016/3期	18点	数量ベース55%以上
	22点	数量ベース65%以上
2017/3期 (改定年度)	18点	数量ベース <u>65%以上</u>
	22点	数量ベース <u>75%以上</u>

【調剤事業】 ジェネリック推進状況



(クオール単体)



□ 約80%の店舗で加算

- 2017/3 GE変更率
- 2018/3 GE変更率
- GE変更率75%以上の店舗割合
- GE変更率65%以上の店舗割合
- ◆ 加算なし店舗割合

■2018/3期 第2四半期決算概要

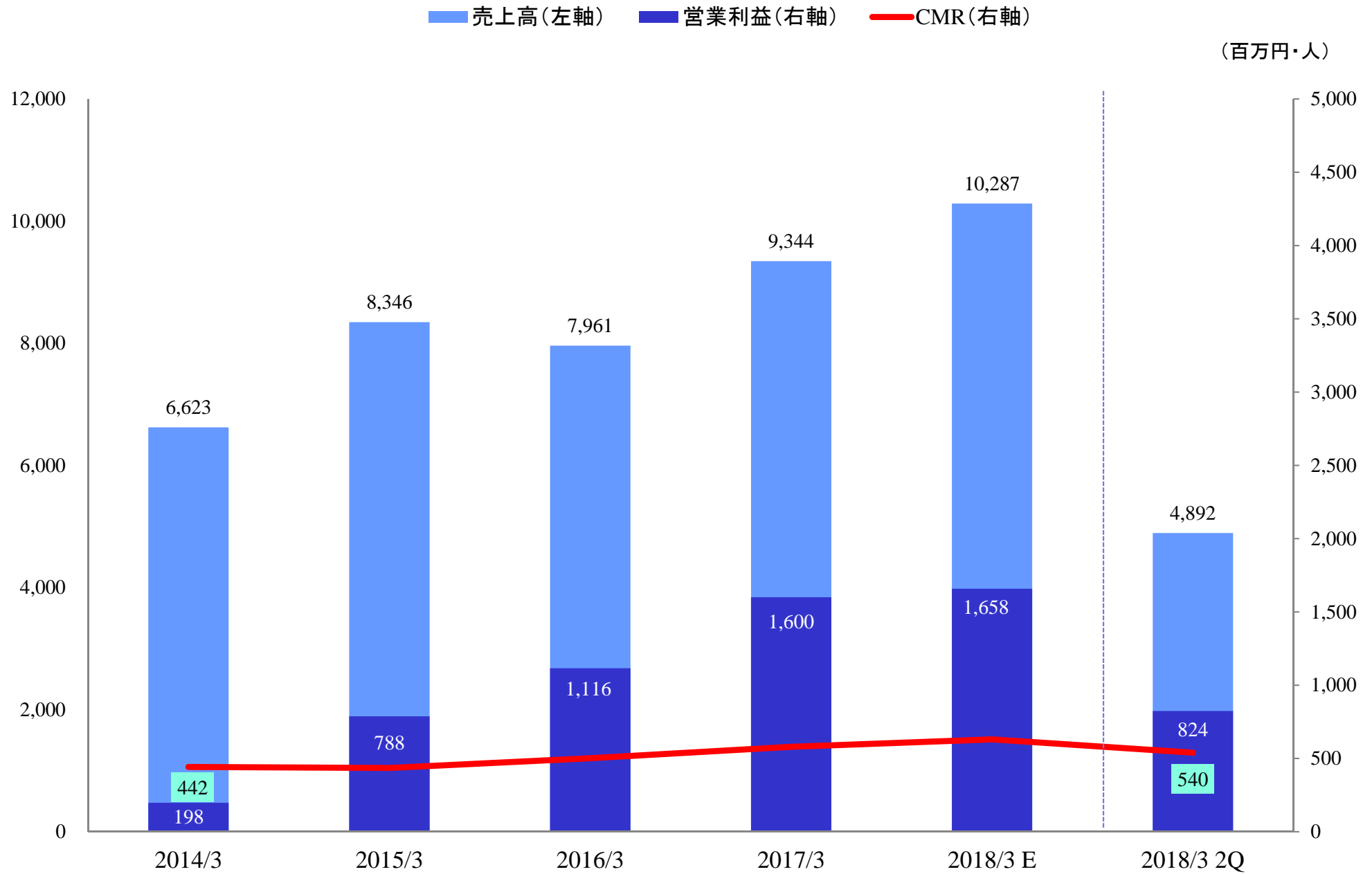
■セグメント別業績

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

■事業概況・トピックス

【BPO受託事業】 アポプラスステーション(CSO・派遣+CRO)



■2018/3期 第2四半期決算概要

■セグメント別業績

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

■事業概況・トピックス

- ✓新規事業の創出
- ✓M&A拡大

持株会社
クオール
ホールディングス

- ①経営戦略推進機能強化
- ②権限・責任の明確化による
意思決定の迅速化
- ③コーポレートガバナンス強化
(コンプライアンス管理体制強化)
- ④グループシナジーの最大化

調剤事業

事業会社
クオール
その他関連会社

BPO事業

事業会社
アポプラスSt.
他

新規事業

患者さま・顧客・取引先



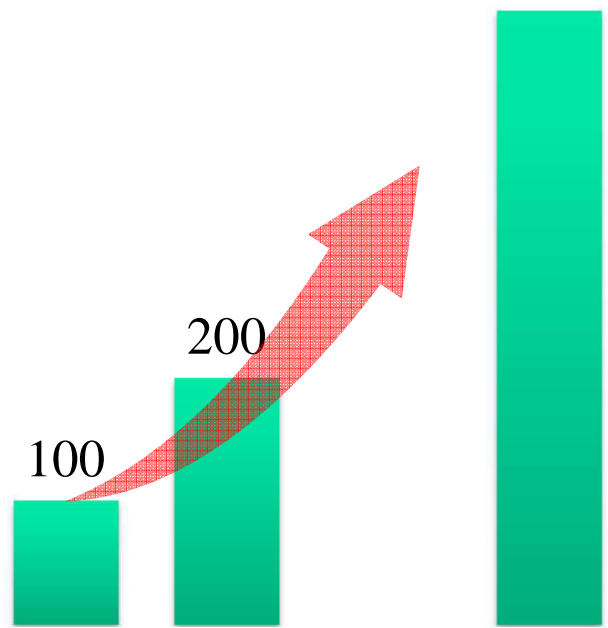
調剤
特化型



新しい保険薬局

健康・病気予防相談
受診勧奨
セルフメディケーション

健康サポート薬局
(計画)



健康サポート薬局

健康サポート機能

- 店舗で地域住民向けに講演会を定期開催
- 全店にOTC・サプリを充実



＋ させて地域のセルフメディケーションに貢献

服薬情報の一元管理・継続的把握

- SMSを活用した副作用情報配信サービス
- クオールカードの活用



医療機関等との連携

- マンツーマン薬局の強みを活かした医療機関との情報交換
- 医師への服薬情報提供書の提出



「患者のための薬局ビジョン」(厚生労働省)より

高度薬学管理機能

- 昭和大学病院と連携し抗がん剤使用者への退院後フォロー実施



24時間対応・在宅対応

- 医療機関との連携によりICTを活用した在宅患者さまの情報管理
- 居宅での在宅対応が多い(65%:クオール単体)



■健康サポート薬局

病院内・商業施設内での健康フェアや企業の健康イベントに参加して、地域の健康をサポート。2018/3期末 100店舗目標 → 23店舗(10月現在)

✓健康サポート薬局研修修了薬剤師： 211名



商業施設内健康フェア



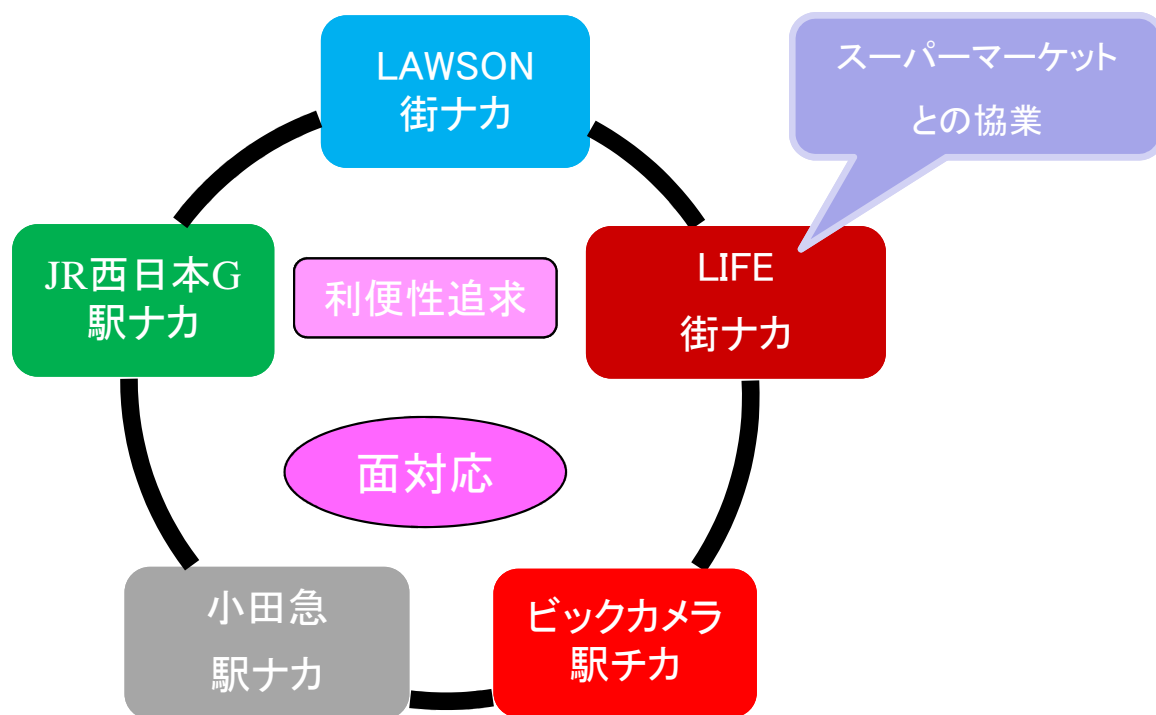
ローソンとの健康イベント
(ロカボセミナー)

2018/3期末までに
100店舗の適合を目指す
ため研修終了者数が
順調に推移

■かかりつけ薬剤師・薬局 (2017年10月現在)

✓かかりつけ薬剤師数： 959名

✓かかりつけ薬局算定店舗 :577店舗 (83.6%)



- 11月オープン
- ライフコーポレーションとの初めての協業店舗
- 店舗形態：面対応薬局
- 365日営業 :9:30-20:00

✓コンビニ、駅、家電量販店と様々な業態との連携を強化

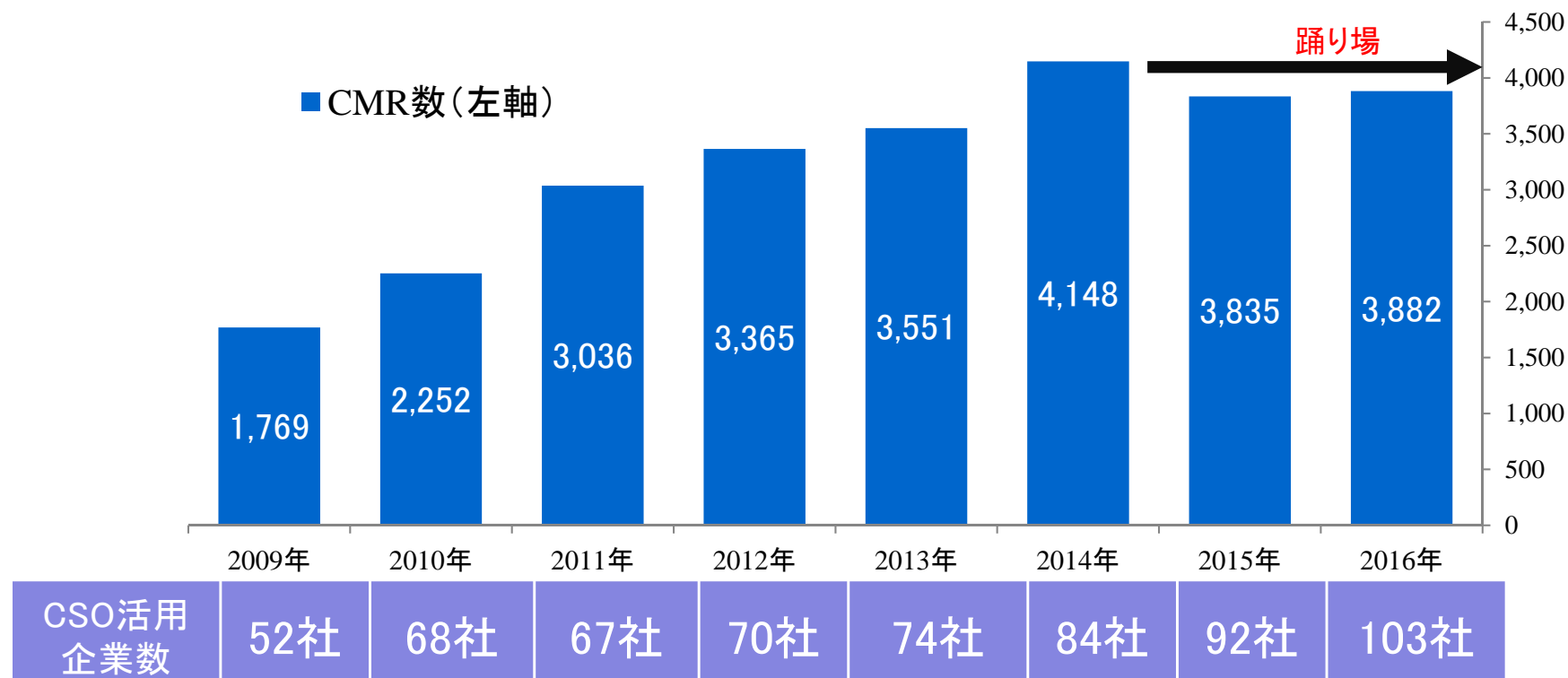
✓ヤマトGとも物流センターで連携

✓ターゲットの年齢層が近いためスーパーとの親和性は高い

✓CMRの需要は安定的、2016年CSO活用企業は過去最多

✓活用企業は増加傾向

(※)CMR:Contract MR(派遣MR)

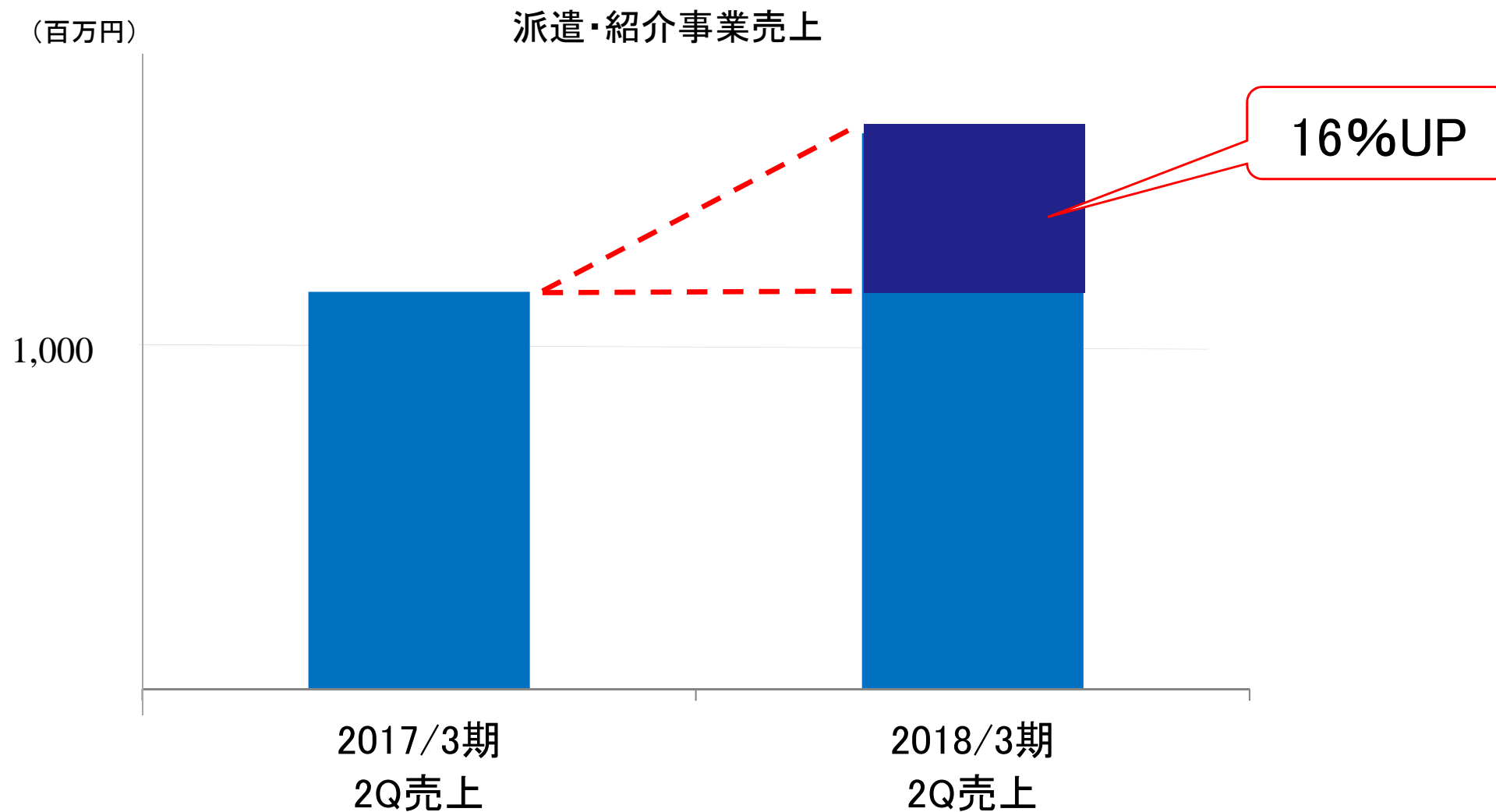


(出所:日本CSO協会 実態調査)

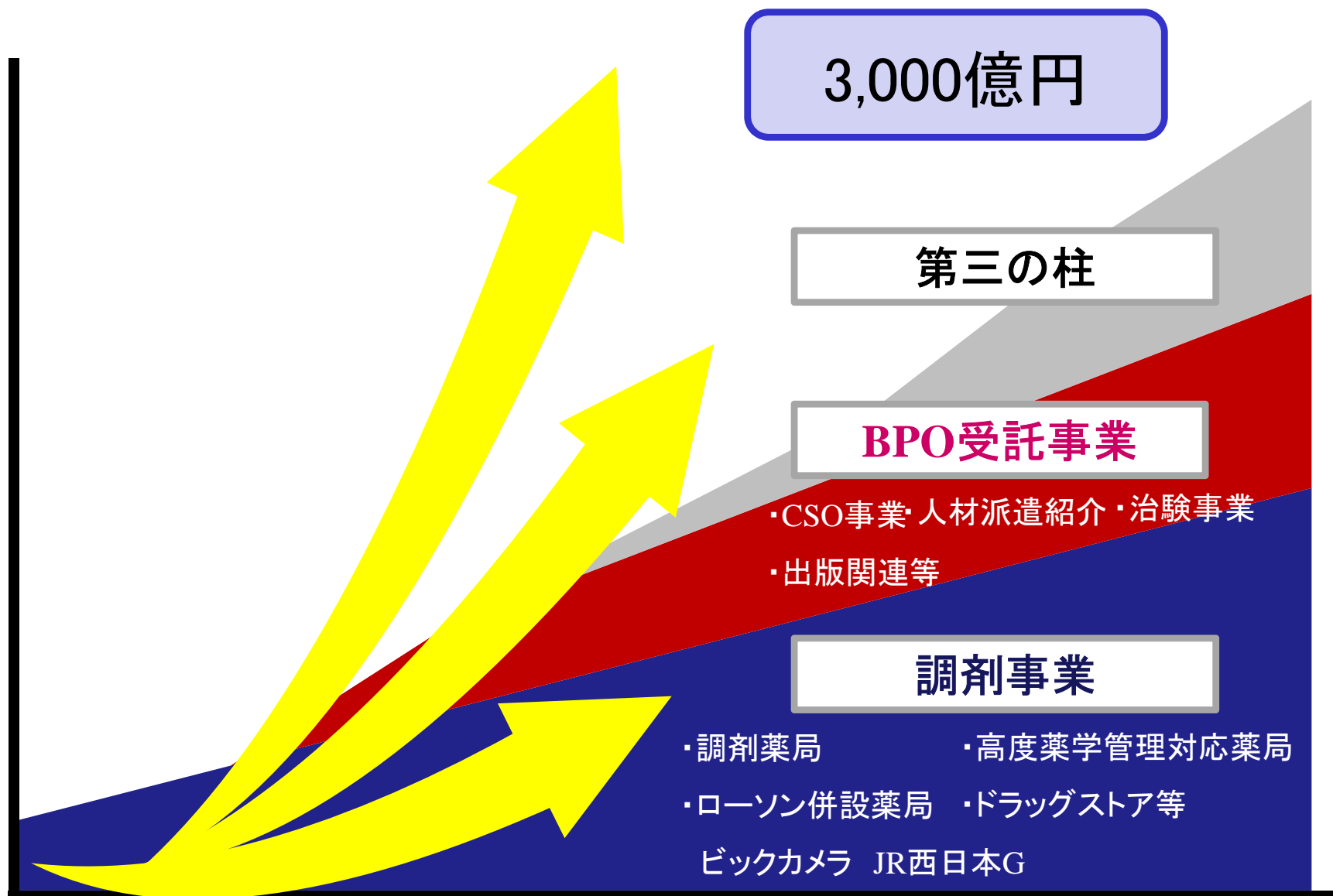
■アポプラスステーション契約社数

2018/3期 2Q実績 44社 業界No.1

- ✓ 医療従事者派遣・紹介の売上好調
- ✓ 営業拠点の新設により、事業拡大



(売上)



(年)